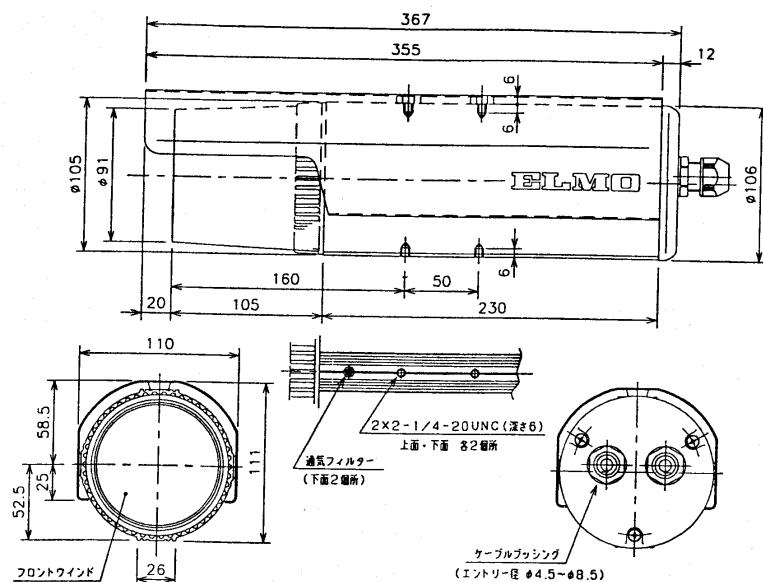


9. 外観



ご注意

フロントウインドは、アクリル製ですので砂ぼこり等が付着したまま拭き取ったりしますと、表面にキズがつくことがあります。

清掃する時は、ハンドブロワー等で表面のゴミを吹き飛ばしてから、やわらかいクロスで拭いてください。

人と人の間を映像システムでつなぐ。
ELMO
SINCE 1921

ELMO 株式会社 エルモ社

本社 名古屋市瑞穂区明前町6番14号 ☎ (052)811-5131 〒467
東京本部 東京都港区三田3丁目7番16号 ☎ (03)3453-6928 〒108

東京支店 東京都渋谷区三田3丁目7番16号 ☎ (03)3453-6471 〒108
名古屋支店 名古屋市瑞穂区明前町6番14号 ☎ (052)824-1571 〒467
大阪支店 大阪市中央区東高麗橋2番4号 ☎ (06)942-3221 〒540
北海道営業所 北海道札幌市北区12条西2丁目4番地 ☎ (011)717-7221 〒001
仙台営業所 仙台市青葉区中央4丁目10番14号エノトセビル ☎ (022)266-3255 〒980
横浜営業所 横浜市保土ヶ谷区若林1番地ハイアラックス土谷 ☎ (045)333-9142 〒240
広島営業所 広島市中区中町8番12号広島グリーンビル ☎ (082)248-4800 〒730
九州営業所 福岡市博多区下川嶺町10番10号 ☎ (092)281-4131 〒812

ELMO カメラハウジング CH-370 取扱説明書

この度は、屋外用カメラハウジング CH-370型をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、いつでも見られるところに大切に保管して下さい。

1. 主な特長

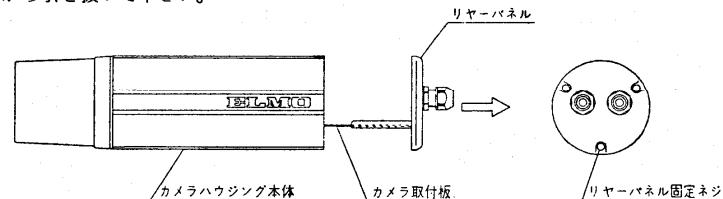
- ・屋外での直射日光や風雨から保護する防まつ形(JIS C0920 保護等級4) / IEC 529 IP-54 対応
- ・小形、軽量で堅牢な腐食に強いアルミ合金製ボディ

2. 製品の構成

・カメラハウジング本体	1
・サンシェイド	1
・カメラ取付板 Aタイプ/Bタイプ (Aタイプは本体に組込み済み)	各1
・付属品	
イ. サンシェイド固定ネジ (M4x8)	2
ロ. カメラ取付ネジ類 (W1/4x12六角ボルト, ばね座金, 平座金)	各1
ハ. 絶縁ワッシャー(プラスチックワッシャー)	1
ニ. 絶縁シート	1

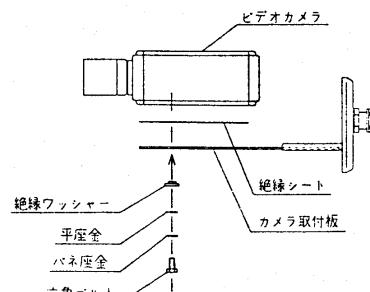
3. リヤーパネル・カメラ取付板の取り外し

- ・ハウジング後面のリヤーパネル固定ネジ(3カ所)をゆるめて、リヤーパネルを後方にスライドさせながら引き抜いて下さい。



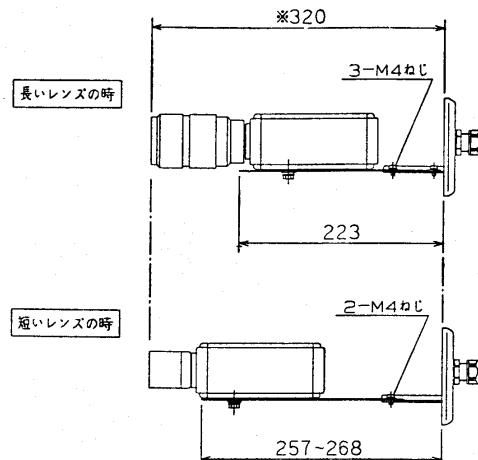
4. カメラの取り付け

1. カメラ取付板の長穴部(8x70)にカメラを取り付けます。
カメラの固定は付属の絶縁シートと絶縁ワッシャーをカメラ取付板を挟んで、六角ボルトにより固定します。



2. カメラ位置の調整

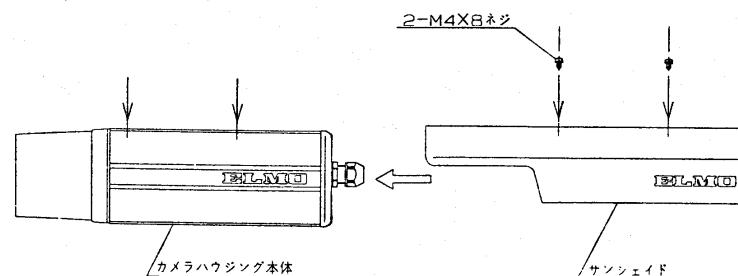
カメラ・レンズの取付位置を調整します。取付位置が適切でないと、画面にケラレが発生したり、レンズの先端がフロントガラスにぶつかり、リヤーパネルが閉められなくなります。



ご注意 リヤーパネルからレンズの先端が※320mmをこえないようにして下さい。

5. サンシェイドの取り付け

屋外や直射日光のある所で使用する時は、付属のサンシェイドを必ず取り付けて下さい。取付は、ハウジングの後方から滑り込ませるようにスライドさせて挿入し、付属ネジ(M4x8)2本で固定して下さい。



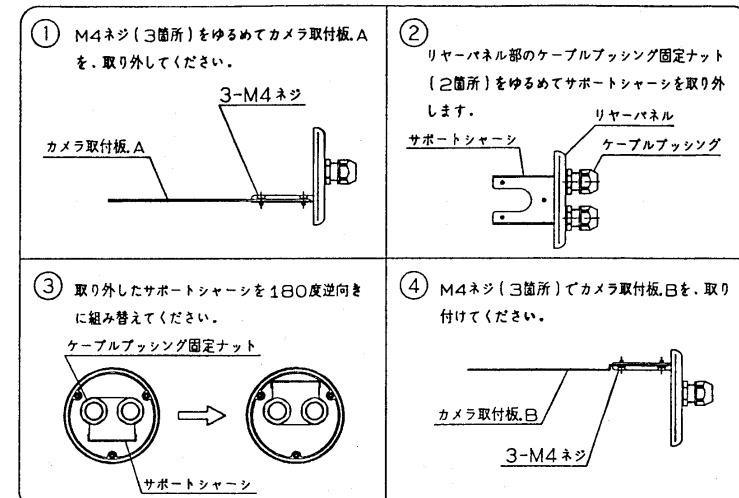
6. 外線の接続

ハウジングの接続は、ハウジング後部の防水ブッシング2カ所より行うことができます。ブッシングの使用可能なケーブルサイズは、 $\phi 4.5 \sim \phi 8.5$ までの太さの丸型ケーブルに適合します。接続するケーブルについては、カメラ・レンズの取扱説明書をご覧下さい。

ご注意 ブッシングナットの締め付けトルクは、78~117N·cm(8~12kgf·cm)です。

7. カメラ取付板の交換

多種多様なカメラやレンズに対応できるように、2種類のカメラ取付板を用意しております。あらかじめ、本体に取り付けてあるのが「Aタイプ」で、付属されているのが「Bタイプ」です。カメラ取付板の交換は、下図の手順にしたがって作業して下さい。



ご注意 カメラ位置の調整は、4-2項をご参照下さい。

8. 安全上のご注意

警告

- ・設置は、十分強度があり振動の少ない所に取り付けて下さい。強度不足の場所に取り付けますと落下などの原因となります。
- ・ハウジングの取り付けは、ネジ2本で行って下さい。1本で取り付けますと、落下などの原因となります。



注意

注意

- ・ハウジングを上下逆に設置しないで下さい。ハウジング下側の通気穴より浸水して、カメラ・レンズの破損や火災・感電の原因となります。
- ・防水機能を満たす為にネジは、しっかりと締めて下さい。又、ケーブルブッシングは、指定範囲内の太さのケーブルを用い、しっかりと締め付けて下さい。締付け不足により、内部に浸水し、カメラ・レンズの破損や火災・感電などの原因となります。



注意